

2024年公共図書館電子図書館アンケート

■アンケート本文■

【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館(者)についてご記入ください
※Q1 1-1、Q2 1-2 は記入(選択)必須となります。

Q1【1-1】 貴図書館名(必須)

Q2【1-2】 都道府県(プルダウン選択)(必須)

Q3【1-3】 ご担当者お名前(任意)

Q4【1-4】 ご連絡先メールアドレス(メール形式、半角英数字でご入力ください)

Q5【1-5】 部署名

Q6【1-6】 電話番号

Q7【1-7】 図書館所在の自治体区分について、選択肢から選択ください(一つ選択、回答必須)

- (1) 都道府県立図書館
- (2) 政令市立図書館
- (3) 特別区立図書館(東京都)
- (4) 市立図書館
- (5) 町村立図書館

Q8【1-8】 アンケート集計資料の送付方法について

選択肢から選択ください(一つ選択)

※ご回答下さった図書館でメールアドレスご記入の図書館には、メールアドレス宛てにアンケートの集計結果をお送りいたします

- (1) メールによる送付を希望 (メールアドレス必須)
- (2) 送付不要

※個人情報の取り扱い、用語の変更について

(1) 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果案内、図書館における電子書籍サービスのセミナーの案内、「電子図書館・電子書籍サービス調査報告」のセミナー及び案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途の「図書館の電子書籍に関する用語の説明」をご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

(2) 用語の変更について (電子書籍貸出サービスを電子書籍サービスと変更)

2021年まで、公共図書館で「電子書籍」を提供するサービスを、「電子書籍貸出サービス」としていましたが、貸出とともに閲覧形態のサービスも増えつつあります。そこで、2022年以降のアンケートでは「電子書籍貸出サービス」を「電子書籍サービス」と変更しています。ただし、過去の資料等においては「電子書籍貸出サービス」を使うことがあります。

また、これまで、電子書籍を利用する場合「貸出」としていましたが、「提供」としております。

【2】電子図書館サービスについて

Q9【質問 2-1】

「電子図書館サービス」として導入しているものがありましたら、選択肢から選択ください(複数選択可)

※このアンケートにおいて「電子図書館サービス」とは、(1) 電子書籍サービス(オーディオブックサービス含む)、(2) 電子雑誌サービス、(3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス、(4) データベース提供(新聞データベース等)、(5) デジタルアーカイブの提供、(6) 音楽・音声配信サービスとなります。

その他の「電子図書館サービス」については、「その他」に具体的にご記入ください。

※Webでの図書検索・貸出予約サービス、OPAC検索は、このアンケートの「電子図書館サービス」には含まれていません

- (1) 電子書籍サービス(例: LibrariE&TRC-DL、OverDrive、KinoDen、エルシエロ・オトバンク、LibrariE 等)
- (2) 電子雑誌サービス(例: TRC-DL マガジン 等)
- (3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
- (4) オンラインデータベース提供サービス(例: 聞蔵II、ヨミダス、日経 BP 記事検索サービス、医中誌 Web 等)
- (5) デジタルアーカイブの提供(例: ADEAC、AMLAD、独自に開発・運用 等)
- (6) 音楽・音声情報配信サービス(例: ナクソス・ミュージック・ライブラリー、国立国会図書館歴史的音源提供サービス 等)
- (7) その他(記載)

Q10【質問 2-2】

・Q9 質問 2-1 で(1)「電子書籍サービスを導入している」を選択した図書館について、電子書籍サービスの外部事業者を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) LibrariE&TRC-DL(図書館流通センター(日本電子図書館サービスコンテンツ、TRC 独自コンテンツ))
 - (2) OverDrive(メディアドゥ)
 - (3) エルシエロ・オトバンク(京セラコミュニケーションシステム・オトバンク)
 - (4) KinoDen(Kinokuniya Digital Library)(紀伊國屋書店)
 - (5) LibrariE(紀伊國屋書店(日本電子図書館サービスコンテンツ))
 - (6) EBSCO eBooks(EBSCO Japan)
 - (7) Maruzen eBook Library(丸善雄松堂、図書館流通センター)
 - (8) その他(記載)
-

Q11【質問 2-3】

電子書籍サービスを導入していない(Q9 質問 2-1 で(1)選択していない)図書館について、今後導入する予定がありますか（一つ選択）

- (1) 電子書籍サービスを導入する予定が具体的にある
 - (2) 電子書籍サービスの導入を検討中（現時点では電子書籍サービスを導入検討の結論に至らないが、引き続き業界動向等の情報収集を行っている）
 - (3) 電子書籍サービスを導入する予定はない
 - (4) その他（記載）
-

Q12【質問 2-4】

・Q9 質問 2-1 で(1)「電子書籍サービスを導入している」を選択した図書館について、図書館の規程等の改正は行いましたか（複数回答可）

- (1) 図書館設置条例を改正した
 - (2) 図書館設置条例の改正を検討中
 - (3) 図書館の運営に関する規程等を改正した
 - (4) 図書館の運営に関する規程等の改正を検討中
 - (5) 図書館資料の収集方針・選定基準を改正した
 - (6) 図書館資料の収集方針・選定基準の改正を検討中
 - (7) 上記のいずれの改正も検討していない
 - (8) その他（記載）
-

Q13【質問 2-5】

電子図書館サービスで、今後導入を検討しているサービスについて、選択肢からご選択ください（複数回答可）

※すでに導入しているサービス（Q9 質問 2-1 で選択したサービス）は除きます

- (1) 電子書籍サービス
 - (2) 電子雑誌サービス
 - (3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
 - (4) オンラインデータベース提供サービス
 - (5) デジタルアーカイブの提供
 - (6) 音楽・音声情報配信サービス
 - (7) その他（記載）
-

Q14 【質問 2-6】

「電子書籍サービス」の利用者にとってのメリットについて、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※電子書籍サービスをすでに導入している図書館→評価できる機能

※電子書籍サービスをまだ導入していない図書館→期待する機能

- (1) 図書館に来館しなくても電子書籍が利用(閲覧)できる機能
 - (2) 文字のテキスト読み上げ機能(TTS機能)
 - (3) 音声電子書籍の提供(オーディオブック、リードアロング等)
 - (4) 文字拡大機能
 - (5) フォント(文字の種類)を選択できる機能
 - (6) 外国語(多言語)電子書籍の提供
 - (7) 文字と地の色の反転機能(読書障害等への対応)
 - (8) マルチメディア機能(映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供)
 - (9) 電子書籍の紙出力による提供機能(コンテンツのプリントアウト)
 - (10) 必要な情報発見の検索機能(電子書籍・コンテンツ検索等)
 - (11) その他(記載)
-

Q15 【質問 2-7】

「電子書籍サービス」の図書館側のメリットについて、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※電子書籍サービスをすでに導入している図書館→評価できる機能

※電子書籍サービスをまだ導入していない図書館→期待する機能

- (1) 貸出・返却・予約業務の自動化
 - (2) 図書館サービスのアクセシビリティ対応(障害者差別解消法、読書バリアフリー法等への対応)
 - (3) 書架スペース問題の解消
 - (4) 汚破損・紛失の回避
 - (5) その他(記載)
-

【3】「電子書籍サービス」を導入している図書館への質問

Q16 質問 3-1～Q36 質問 3-21 は電子書籍サービスを導入している図書館（Q9 質問 2-1 で (1) を選択）の方がお答えください。

※電子書籍サービスを導入していない図書館（Q9 質問 2-1 で (1) を選択しなかった図書館）の方は【3】Q16 質問 3-1～Q36 質問 3-21 は回答せず、【4】の Q37 質問 4-1 からご回答ください。

Q16 【質問 3-1】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。2023 年度の「電子書籍サービスの運営費と電子書籍コンテンツ」の費用の合計を、選択肢からご選択ください（一つ選択）

※ご回答可能な範囲で結構です

- (1) 100 万円未満
 - (2) 100 万円以上～500 万円未満
 - (3) 500 万円以上～1,000 万円未満
 - (4) 1,000 万円以上～2,000 万未満
 - (5) 2,000 万円以上
 - (6) その他（記載）
-

Q17 【質問 3-2】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。2023 年度の「電子図書館の電子書籍（コンテンツ）」の費用について、選択肢からご選択ください。

※ご回答可能な範囲で結構です

- (1) 50 万円未満
 - (2) 50 万円以上～100 万円未満
 - (3) 100 万円以上～300 万円未満
 - (4) 300 万円以上～500 万円未満
 - (5) 500 万円以上～1,000 万円未満
 - (6) 1,000 万円以上
 - (7) その他（記載）
-

Q18 【質問 3-3】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。

「電子書籍サービス」の運用における課題について、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- (1) 電子図書館運用予算
 - (2) 電子書籍サービスを運用するための知識
 - (3) 電子図書館担当者の問題
 - (4) 電子書籍サービス利用者のニーズ
 - (5) 電子書籍サービスで提供される電子書籍等コンテンツ
 - (6) 電子書籍サービスの費用対効果
 - (7) 電子書籍サービスで提供する「電子書籍コンテンツ」の選択
 - (8) 電子書籍サービスの継続
 - (9) 利用者に対する電子書籍サービスの説明
 - (10) 電子図書館の広域連携
 - (11) その他（記載）
-

Q19 【質問 3-4】

・Q18 質問 3-3 で(5)「電子書籍サービスで提供される電子書籍等コンテンツ」を選択した図書館に伺います。電子書籍コンテンツ(以下、コンテンツ)について懸念することを選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 提供されているコンテンツのタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) ベストセラーが電子書籍貸出向けに提供されない
 - (4) 電子書籍案内ページが、目が不自由な人や外国人住人への対応が不十分
 - (5) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (6) コンテンツの価格
 - (7) コンテンツ購入（提供）費用の会計処理の基準
 - (8) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (9) コンテンツの選書
 - (10) 読み上げ機能が不完全
 - (11) 書誌情報が十分でない
 - (12) 読み放題パックの種類が少ない
 - (13) その他（記載）
-

Q20 【質問 3-5】

・Q19 質問 3-4 で(1)「提供されているコンテンツのタイトル数が少ない」を選択した図書館に伺います。どのようなジャンルのコンテンツが必要と考えますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 文芸書・小説・ライトノベル（ラノベ）
 - (2) 実用書
 - (3) ビジネス書（資格・検定試験関係の本は（15））
 - (4) 専門書（ビジネス書以外）
 - (5) 学習参考書
 - (6) 児童書・絵本
 - (7) 図鑑、年鑑
 - (8) 辞書・辞典
 - (9) マンガ（学習マンガ含む）
 - (10) 雑誌
 - (11) 一般新聞
 - (12) 子供新聞
 - (13) 地元関係の本
 - (14) 外国語コンテンツ
 - (15) 旅行ガイド
 - (16) 資格・検定試験関係の本
 - (17) その他（記載）
-

Q21 【質問 3-6】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。現在の「電子書籍サービス」の利用登録率（対人口比）を、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 1%～9%
 - (2) 10%～19%
 - (3) 20%～29%
 - (4) 30%～49%
 - (5) 50%以上
 - (6) その他（記載）
-

Q22【質問 3-7】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」の利用実績の多い世代について、主な世代を、選択肢から3つご選択ください(わかる範囲で、3つ以下でも結構です)

- (1) 12歳未満
 - (2) 12歳～19歳
 - (3) 20代
 - (4) 30代
 - (5) 40代
 - (6) 50代
 - (7) 60代
 - (8) 70代以上
 - (9) その他(記載)
-

Q23【質問 3-8】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。貴館の「資料収集方針」「選書基準」等において、電子書籍の選書する基準を設けていますか(複数選択可)

- (1) 紙の書籍に関する選書基準を準用している
 - (2) 電子書籍の選書基準を設けている
 - (3) 電子書籍の選書基準は設けていない
 - (4) (1)(2)を選択した方で、選書基準がWeb公開されている場合「URL」をご記載ください、また、その他ご意見等ありましたらご記載ください
-

Q24【質問 3-9】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。本年度(2024年度直近)の利用(閲覧)可能な電子書籍コンテンツの数(タイトル数)をご記入ください

※わかる範囲で結構です

- ・利用(閲覧)可能な電子書籍タイトル数 [_____]タイトル

Q25【質問 3-10】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。昨年度(2023年度、サービス開始から1年未満の場合はこれまでの合計)の電子書籍の利用(閲覧)件数をご記入ください

※利用(閲覧)件数が不明の場合は記載しなくて結構です

- ・合計利用(閲覧)件数 [_____]件

Q26【質問 3-11】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。電子書籍サービス利用者向けの電子書籍コンテンツ提供にあたり、「電子書籍読み放題パック」(アクセス無制限)を導入していますか(一つ選択)

- (1) 電子書籍読み放題パックを導入している
- (2) 電子書籍読み放題パックは導入していない

Q27【質問 3-12】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」を導入後の図書館運営者側の感想を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 計画(予想)よりも、利用(閲覧)件数、利用者数が多い
 - (2) 計画(予想)通りの利用(閲覧)数、利用者数である
 - (3) 計画(予想)よりも、利用(閲覧)件数、利用者数が少ない
 - (4) その他(記載)
-

Q28【質問 3-13】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」の運用・管理について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 運用・管理は予定通りである
 - (2) 運用・管理が煩雑で負担が大きい
 - (3) その他(記載)
-

Q29【質問 3-14】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」の利用者からの問い合わせについて、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 利用者(利用可能住民)から図書館への問い合わせが多い
 - (2) 利用者(利用可能住民)から図書館への問い合わせは少ない
 - (3) その他(記載)
-

Q30 【質問 3-15】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。貴図書館の「独自資料」、地元地域の出版社や新聞社、著者と協力した「電子書籍」(以下、「地元電子書籍」)を電子書籍として搭載していますか（複数選択可）

- (1) 「独自資料」を搭載している
 - (2) 「地元電子書籍」を搭載している
 - (3) 「独自資料」「地元電子書籍」は搭載していない
 - (4) 「独自資料」「地元電子書籍」を搭載している場合、搭載数、シリーズ名などご記入ください（記載）
-

Q31 【質問 3-16】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。電子図書館サービス利用者用の貸出可能な電子端末(タブレット、パソコン等)がありますか（一つ選択）

- (1) 利用者向け、「館内専用の電子端末（貸出用）」がある
 - (2) 利用者向け、「館内及び館外の両方で使える電子端末（貸出用）」がある
 - (3) 利用者向け、電子端末は無い
 - (4) その他（記載）
-

Q32 【質問 3-17】

・Q31 質問 3-16 で、(1)及び(2)で「電子端末(貸出用)」がある、を選択した方に、利用者への貸出以外に活用方法がありますか（複数選択可）

- (1) 図書館スタッフ（職員等）による利用者への館内での電子図書館の説明
 - (2) 館内・館外を問わずに電子図書館説明のイベントや電子図書館サービス体験会用
 - (3) その他（記載）
-

Q33 【質問 3-18】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」の電子書籍(コンテンツ)の費用をどのような予算項目としていますか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※わかる範囲、選択できる範囲で結構です

- (1) 資料費
- (2) 使用役務費
- (3) 業務委託料
- (4) 使用料・賃貸料
- (5) 指定管理料
- (6) 負担金(広域電子図書館負担金等)
- (7) 図書購入費(備品購入費含む)
- (8) 消耗品費
- (9) その他(記載)

Q34 【質問 3-19】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」の認知度向上や利用促進にむけて、どのような広報活動を行っていますか(複数選択可)

- (1) 自治体の Web サイトでの、電子書籍サービスへのリンク(図書館へのリンク含む)を掲出
 - (2) 自治体広報誌への案内掲載(定期・不定期)
 - (3) 自治体及び図書館の公式 SNS や公式動画サイトを用いた情報発信
 - (4) 図書館内での利用登録案内やポスターの掲出
 - (5) 図書館内でのデモ体験会や利用説明会の開催(定期・不定期)
 - (6) 図書館以外の施設へのポスター掲示
 - (7) 図書館以外の施設へ出向いての利用登録キャンペーンの実施(電子書籍サービス利用体験会等)
 - (8) 自治体内の学校の生徒・学生への ID 提供
 - (9) その他、電子書籍サービスの広報活動がありましたらご記入ください
-

Q35 【質問 3-20】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。「電子書籍サービス」の運営やコンテンツに関する費用についてどのような予算、工夫をされていますか(複数選択可)

- (1) 図書館予算のみで行い、電子書籍サービスの運営に関してその他の工夫していることはない
 - (2) 地元企業に寄付の依頼を行っている
 - (3) 団体 (PTA、卒業生 OB・OG 会等含む) に寄付助成の依頼
 - (4) ふるさと納税の活用・クラウドファンディング
 - (5) 公的な助成金・交付金を受けて、電子書籍サービスを導入した
 - (6) 公的な助成金・交付金を継続的に受けて、電子書籍サービスを運営している
 - (7) その他、電子書籍サービスの運営、電子書籍費用について (2) ~ (6) 以外の工夫を行っている場合ご記入ください
-

Q36 【質問 3-21】

電子書籍サービスを導入している図書館に伺います。電子書籍サービス利用者登録において、「電子申請システム」を活用しての利用者登録をおこなっていますか (一つ選択)

※学校の児童生徒の新規利用者登録を除きます。

- (1) 図書館に来館しなくても、Web (メール) で利用の登録ができる、利用者登録「電子申請システム」を活用して利用者登録を行っている (新規に電子書籍サービス利用者番号を発行)
 - (2) 図書館利用者がすでに持っている登録番号で、電子書籍サービスが利用できる (Web の「利用者登録システム」で利用登録設定する)
 - (3) 電子書籍サービスを利用する場合、図書館に来館して新規に登録する必要がある
 - (4) その他 (記載)
-

【4】「電子書籍サービス」を導入していない図書館への質問

Q37 質問 4-1～Q40 質問 4-4 は、電子書籍サービスを導入していない図書館（Q9 質問 2-1 で（1）を選択していない図書館）の方が答えてください。

※電子書籍サービスを導入している図書館（Q9 質問 2-1 で（1）を選択）している方は、Q37 質問 4-1～Q40 質問 4-4 は回答しなくて結構です。

Q37 【質問 4-1】

・Q11 質問 2-3 で(1)(2)の「電子書籍サービスを導入する予定がある・検討中」の図書館に伺います。

「電子書籍サービス」導入開始時期が公表できれば、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 令和 6 年度中 (2024 年度)
 - (2) 令和 7 年度 (2025 年度)
 - (3) 令和 8 年度 (2026 年度) 以降
 - (4) その他 (記載)
-

Q38 【質問 4-2】

・Q11 質問 2-3 で(3)の「電子書籍サービスを導入する予定はない」を選択した図書館に伺います。

「電子書籍サービスを導入する予定はない」理由を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 電子書籍サービスを導入する予算問題
 - (2) 図書館利用者からの問い合わせがない
 - (3) 電子書籍サービスを運営する担当者の問題
 - (4) 首長（市長・町村長等）や議会からの要望がない
 - (5) 電子書籍サービスの導入計画はあるが、予算化されていない
 - (6) その他（記載）
-

Q39 【質問 4-3】

電子書籍サービスを導入していない図書館に伺います。

「電子書籍サービス」を新規に導入するための課題がありましたら、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- (1) 電子書籍サービス導入予算の確保
- (2) 担当部署、担当者の問題
- (3) 図書館利用者からのニーズ
- (4) 電子書籍サービスの導入に対する、費用対効果
- (5) 電子書籍サービスで提供される電子書籍等コンテンツ

- (6) 電子書籍サービスが継続されるかどうか（サービス中止に対する不安）
 - (7) 電子書籍サービスを導入するための十分な知識（経験）がない
 - (8) 電子書籍サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (9) 利用者に対する電子書籍サービスの説明
 - (10) 他の自治体との広域連携による電子書籍サービス
 - (11) その他（記載）
-

Q40 【質問 4-4】

・Q39 質問 4-3 で(5)「電子書籍サービスで提供されるコンテンツ」を選択した図書館に伺います。

電子書籍(コンテンツ)に関する懸念事項を選択肢から選択ください（複数選択可）

- (1) 提供されている電子書籍コンテンツ（以下、コンテンツ）のタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (4) コンテンツの価格
 - (5) コンテンツ購入（提供）費用の会計処理の基準
 - (6) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (7) コンテンツの選書基準
 - (8) その他（記載）
-

【5】 「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」への 対応について

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」（以下「図書館送信サービス」）とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

Q41 【質問 5-1】

「図書館送信サービス」への対応について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
 - (2) 申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
 - (3) 令和6年度(2024年)中に申し込みをする予定で検討している
 - (4) 令和7年度(2025年)以降に申し込みをする予定で検討している
 - (5) 現在のところ申し込む予定はない(差し支えなければ(6)に理由をご記入ください)
 - (6) その他(記載)
-

Q42 【質問 5-2】

・Q41 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、サービスを開始して感じる利点を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) より多くの資料を提供できるようになった
 - (2) 新たな図書館利用者の開拓につながった
 - (3) 図書館利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった
 - (4) より迅速に資料を提供できるようになった
 - (5) 全文テキスト検索により情報を探しやすくなった
 - (6) 相互貸借を減らすことができた
 - (7) 利用者端末の有効活用につながった
 - (8) その他(記載)
-

Q43 【質問 5-3】

・Q41 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、「図書館送信サービス」を開始して感じる課題を以下の選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 利用が少ない
 - (2) 必要な資料・魅力的な資料が少ない
 - (3) 操作方法に工夫・改良の余地がある
 - (4) 運用・管理が煩雑である
 - (5) 設備や要員に係る負担が大きい
 - (6) 複写物の提供に係る判断が難しい
 - (7) 利用者への広報の仕方がわからない
 - (8) 特に課題はない
 - (9) その他 (記載)
-

Q44 【質問 5-4】

・Q41 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、「国立国会図書館 個人向けデジタル化資料送信サービス」(以下「個人送信サービス」)の開始(令和4年5月19日～)に伴う「図書館送信サービス」への影響について、選択肢からご選択ください(複数回答可)

※「個人送信サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を、インターネットを通じて自身の端末(パソコン、タブレット)等で利用できるサービスのことを言います

- (1) 「個人送信サービス」の開始後に「図書館送信サービス」の利用が増加した
 - (2) 「個人送信サービス」の開始後に「図書館送信サービス」の利用が減少した
 - (3) 特に影響はない
 - (4) その他 (記載)
-

Q45 【質問 5-5】

・Q41 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、「個人送信サービス」開始後の「図書館送信サービス」の位置付け(利用案内の優先度等)について、選択肢からご選択ください(複数回答可)

- (1) 見直しを行った(差し支えなければ(4)に見直し内容をご記入ください)
 - (2) 見直しを検討している(差し支えなければ(4)に見直し内容をご記入ください)
 - (3) 特に変更はない
 - (4) その他 (記載)
-

【6】自治体 ICT 利用、学校連携について

Q46【質問 6-1】

貴館の自治体における、自治体総合計画の ICT 活用(自治体 DX 推進計画等を含む)において「電子図書館」の導入・活用が明記されていますか、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 自治体総合計画の ICT 活用 (自治体 DX 推進計画等を含む) に「電子図書館」が明記されている
 - (2) 自治体総合計画の ICT 活用 (自治体 DX 推進計画等を含む) に「電子図書館」は明記されていない
 - (3) その他 (記載)
-

Q47【質問 6-2】

図書館の運営方式(直営、指定管理業者等)について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 自治体の図書館運営はすべて自治体直営で運営している
 - (2) 自治体の図書館運営についてすべて指定管理業者が運営している
 - (3) 直営と一部指定管理が混在
 - (4) 直営と一部業務委託が混在
 - (5) 直営と一部指定管理と一部業務委託が混在している
 - (6) その他 (記載)
-

Q48【質問 6-3】

貴館で「電子書籍サービス」や「地域資料の提供」を行っている場合、自治体内の学校(小中高校等)との連携内容について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 「電子書籍サービス」を利用した学校での読書活動推進 (朝読等)
 - (2) 図書館がインターネットで提供する「地域資料」の学校での利用推進
 - (3) 「電子書籍サービス」や「地域資料」について学校での利活用は行っていない
 - (4) その他、学校連携、児童生徒向けの電子図書館サービスの利活用の具体例がありましたらご記載ください
-

【7】その他

Q49【質問 7-1】

貴館において、図書館内で利用者が使える Wi-Fi サービスを提供していますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 利用者が使える無料の Wi-Fi サービスがある
 - (2) 有料の Wi-Fi サービスを案内している
 - (3) Wi-Fi サービスは特に案内していない
 - (4) その他（記載）
-

Q50【質問 7-2】

「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとして利用・利用の検討をしていますか（一つ選択）

※電子図書館利用に限定しません

- (1) 「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとして利用している
- (2) 「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとして利用を検討中（現在は利用していない）
- (3) 「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとしての利用・利用検討はしていない

Q51【質問 7-3】

その他、全体を通してご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください（記載）

最終ページ